



この領域は、のび率の比較的低かったところである。一は、ことばの意味（単調，手どき，たくして，特有）を問うものであり，2問が上昇している。二は，反対の意味のことばを選ぶ（前進，普通，簡単，成功の反対語）問題である。2問が上昇している。

三は，意味のよくにたことば（有名，日常，方針，未来）を選ぶ問題である。3問が向上している。

四は，同じような意味の語句を選ぶ（あいづちを打つ，根も葉もない，けりがつく，耳にたこができる）問題である。あまり向上がみられない。

五は，（まともに，おをひく，くじく，よそ

おう）のことばが正しく使用されているかどうか問う問題である。40%以下の問題が，3つある。これは，正しく使用しているもの二つ選ぶことになっているのに，正しいもの一つしか選ばないものが多いことと，ふだん，ことばの意味の吟味が，あまいことによると思われる。また，語句の意味をとらえる場合，意味がズレたり，ひゆ的な表現になると，正解がすくなくなるようである。

六は，熟語の構成を問うものであり，2問向上している。